

令和2年度さいたま市教師塾「夢」講座 閉講式 教育長挨拶文

令和3年4月24日（土）

皆さん、こんにちは。教育長の細田でございます。

さいたま市教師塾「夢」講座の第3期生として学んだそれぞれの講座はいかがでしたか。新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされた今期の講座は、「新しい生活様式」の下、時には内容や方法を変更しながら実施して参りました。そうした中でも、皆さん一人ひとりの「どのような状況下であってもたくさんのことを学び取ろう」という強い意志により、様々な「学び」のある講座となったことでしょう。また、こうした状況下だからこそ、人とつながって学び合うことの大切さを改めて実感できたのではないのでしょうか。

今、皆さんの表情を見ていると、様々な学びを経てさらに大きくなった「さいたま市の教師になる」という「夢」に対する熱い思いが伝わってきます。

さて、コロナ禍により大きな変化を余儀なくされたのは、学校教育も例外ではありませんでした。しかし、私たちが感じた様々な困難さは、「学び」のパラダイムシフトに向けて歩みだす大きなチャンスともなりました。

社会が大きく変化する中であって、今、未来を生きる子どもたちに求められる「学び」は、様々なフィールドを「越境」し、次のステージへと進化しています。皆さん自身も、この「夢」講座では、大学を、志望する学校種を、教科を「越境」して学び合うことにより、新たな「学び」が生ま

れたのではないのでしょうか。そのことを知っている皆さんには、未来のさいたま市教育を担う推進役として活躍していただけることと信じています。未来を生きる子どもたちが主体的に学び続けるために、皆さん自身の「常に学び続けよう」という今の思いを決して忘れないでください。

皆さんの教師になるという「夢」に向けての熱い思いが、さいたま市教育の飛躍に向けての原動力となります。「夢」講座第3期生の誇りを胸に、一緒に歩いていきましょう。ポストコロナを生きるさいたま市の子どもたちの輝く未来のために、皆さんとともに働ける日を、今から楽しみにしています。